

# 教職大学院 VOL.58

2025.5月発行

# NEWS

三重大学大学院教育学研究科  
教職実践高度化専攻

## 9期生の皆さんへ：学びと対話の時間をともに

専攻長 菊池 紀彦

9期生のみなさん、ご入学おめでとうございます。皆さんを教職大学院に迎えることを、心から嬉しく思います。これから始まる日々には、多くの学びと出会いが待っています。教育現場に立ち続ける中で見えてきた問い、あるいは初めて現場に立つにあたって抱く思い。それぞれの経験や視点を携えて、互いに学び合い、高め合うことのできる環境がここにはあります。皆さんには、学ぶことの意義と責任を自覚し、教師としての力を一層磨いていただきたいと思います。その歩みに誇りと覚悟をもち、未来の教育を支える確かな礎を築いてください。私たち教職員も、皆さんの歩みを全力で支えてまいります。

## 9期生紹介

小松 千晶 四日市市立富田中学校	今まで養護教諭として、ただひたすらに駆け抜けてきましたが、この「具体的経験」を「省察」「概念化」し、現任校に戻って「試行」できるよう経験学習理論をスタートさせました。養護教諭養成課程がない三重大学だからこそできる化学反応を起こし、研究をすすめています。
濱口 綾子 志摩市立磯部中学校	教職大学院で様々な「理論」を学ぶとき、いつも現場で関わってきた生徒のことを思い出し、自分自身の実践を振り返っています。教職大学院で学ぶ魅力は、「理論と実践の往還」であると改めて感じる瞬間でもあります。同期の方々や、8期生の先輩方と共に学び合える場を大切に、充実した2年間を送りたいです。
宮本 宜美 度会町立度会中学校	大学院で学ぶ機会をいただいたことに感謝しています。教育現場で出会った課題や自分のつまずきに真摯に向き合い、学びや研究に励みたいです。生徒の学校生活が楽しくよりよいものになるよう、自分と向き合っていきます。
伊藤 亜実 高等学校（公民科）志望	教職大学院では、学級づくりについて深く学び、研究していきたいと考えています。さまざまな方々との出会いを通して、広い視点に立ち、多様な力を身につけていきたいです。この2年間を実りある有意義な時間にしていきます。
奥平 桃子 高等学校（農業科）志望	私は三重大の生物資源学部で農業と理科の免許を取得しましたが、教育についての知識や技術がないため、教職大学院への進学を決めました。現職の方と学卒の方共に学べる環境に非常に感謝しております。この縁を大切に、1日1日経験や知識を得て成長していきたいと思っています。よろしくお願いします！
高橋 奎彦 小学校志望	教職大学院では、大学4年間では学びきれなかった学修を通して、幅広い知見を獲得すると共に知識の定着を図っていききたいです。そして様々な実践や経験、仲間との交流を通して、教育について多様な価値観を知り理解を深め、子ども・教師・保護者にとってより良い教育を作っていけるような人材になることを目指します。
新美 宏太 中学校（理科）志望	学部生の時は理科教育について学んでいましたが、大学生活において部活動や教育実習などで様々な経験をさせていただく中で心理学について学びたいと感じ、進学しました。将来、教師となり生徒と向き合うとき学習したことを生かした指導ができるようになりたいと考えています。
古川 みやび 小学校志望	私は、教科の枠にとらわれず、子どもたちの学びが広がるような横断的な学習の在り方を探究したいです。長期実習を通して継続的に学校現場に関わらせていただけることに感謝し、実践力を高めていきたいです。
伊藤 秀親 小学校志望	私は大学時代には、教師や児童の水泳運動への見方に問題があるとし、体育としての水泳運動で子どもが何を学ぶのかを考察しました。大学院では、水泳運動と他領域や他教科を身体の使い方という視点で比較したいと考えています。この2年間を多分に悩み、様々な方と議論しながら、共に成長できるようにしていきたいです。
井本 渚葉 中学校（理科）志望	学部生の時に教えていただいた「理科はセンスオブワンダーだよ」という言葉が忘れられず、それは一体どんな授業なのか考え続ける2年間にしたいです。また、学習指導要領でも言われている「生きる力」を自分なりに解釈し、子どもたちが自ら進んで学び問題発見できる授業とはどんなものなのか探っていきたいと思っています。
江藤 大瑛 中学校（数学）志望	私は学部生のときに、中学1年生を対象に、文字の役割についての研究を行いました。ただ、文字の理解には小学校における量の認識や□○といった記号の理解が深くかかわっていることが研究を進めるにつれて分かってきたので、小学校の算数から中学校の文字の学習へつなげるための研究を行いたいです。
大河 内真子 小学校志望	学部生の時は、今の教育課題から研究をしたり考えたりすることが多かったと思います。三重県で小学校教員になる準備の大切な大学院2年間だと思うので、これからは、一歩先の教育のことを考えていきたいです。複式学級の研究から、人権についてなど広い視点で考えていけるようになりたいと思います。よろしくお願いします。

<b>奥山 達行</b> <small>高等学校（英語科）志望</small>	卒業後すぐ高校教員として働こうとしていた際に『理論と実践の往還』を特色としている教職大学院という存在に出会いました。学校現場の強みや課題を深く捉え、これから教員として成長するためのVisionをより具体的に描きたいと思い、大学院に進むことを決断しました。この2年間で三重県に貢献できるよう全力を尽くします。
<b>加藤 ひろな</b> <small>高等学校（美術科）志望</small>	志高い素敵なお仲間や経験豊富な先生方に囲まれ刺激を受けながら、教育についてじっくり考えられる貴重な環境に2年間身を置くことが非常にありがたく思います。たくさん人と話し、たくさん足を運び、学んだことを将来教育現場へ還元できるよう、すべてを吸収する気持ちで送る2年間にしたいと思います。
<b>河合 紀歩</b> <small>高等学校（家庭科）志望</small>	もっと家庭科を知りたい！が私の教職大学院に進んだ理由です。大学院では向上心のある仲間たちに囲まれて様々な角度から学校について考えることができます。実習や授業内でのディスカッションも充実しています。この環境は自分自身の専門性を高める点においても刺激的で、学部時代よりも深い学びができていますと実感しています。
<b>川村 夏陽</b> <small>高等学校（数学科）志望</small>	私は教職大学院で、生徒の学習意欲向上を目指した数学科における授業づくりや支援について考えたいと思い、進学しました。教職大学院は現職の先生方と対話できる貴重な場でもあるので、対話や実習を通して多くのことを学び、教員になった際に活かせるようにしたいと思います。
<b>紀平 佳克</b> <small>県立久居高校</small>	教育現場に入ると、多くの経験を得ることができます。しかし、振り返ること（省察）や新しい学びにチャレンジする機会が少なくなっていました。教員生活の分岐点となるべくこの機会に感謝し、今後の学びと成長に繋がりたいと考えています。
<b>後藤 瑞季</b> <small>高等学校（理科）志望</small>	学部の学びで生物や化学など理科に対する専門性を深めることができました。そして教職大学院では理科のおもしろさを伝えられるように、生徒への伝え方、興味関心を引き出す工夫など理科教育についてさらに学びを深めたいと思います。授業や実習を通して、成長していきたいです。
<b>中野 芙美</b> <small>高等学校（地歴科）志望</small>	教職大学院では、同期の皆さんと教育について語り合える機会が沢山あります。そのたびに大きな学びを得られることをとても嬉しく思います。「歴史を学ぶ意義はどこにあるか」という一生の問いに対し、自分自身で答えるための手がかりを見つけ、より深く歴史教育について考えていきたいです。
<b>中村 俊彦</b> <small>津市立一身田中学校</small>	教職現場に出て14年が経ち、改めて教科教育について考えたいと思い、入学を決めました。限られた時間の中で、自分の研究テーマについて掘り下げ、再び現場で指導できるよう1日1日を大切に過ごしたいと思います。2年間よろしくお願いたします。
<b>橋詰 彩花</b> <small>中学校（国語科）志望</small>	学部時代は人文学部で学んできましたが、教職大学院に入学してからは思う存分、教育について学ぶことができ、とてもワクワクする毎日です。大学院では、これまで学んできた日本語教育を大学院での学びにつなげること、国語の授業力を高めることを目標に、貪欲に学んでいきます。
<b>日置 真代</b> <small>小学校志望</small>	教職大学院では、さまざまな子どもたちとの関わり、同期・先輩との関わりを大切にしながら自分の指導力を高めたいと思います。そして、2年後に自分の理想の教師像に近づけるように頑張ります。よろしくお願いたします。
<b>平松 訓子</b> <small>桑名市立大山田南小学校</small>	20年に渡って授業を行う中で、児童が安心して授業に参加するためにできることは何かと考えるようになりました。教職大学院では理論と実践を結びつけ、今後の実践に生かすことを目指します。先生方や院生の皆さんと共に学び合い、学んだことを、二年後、子ども達や学校現場に還元したいと思います。
<b>村部 陸翔</b> <small>高等学校（国語科）志望</small>	メッセージ：教職大学院では、【〈文学研究〉×〈探究型学習〉を軸とした個別最適な国語教育】という学修テーマのもと、「各視点からプロフェッショナル達が教室空間で一つの読みを創りあげていく」そんな授業を実践したいです。今まで知らんぷりを決め込んできた理論ともしっかり向き合い、必ずや「石」から「玉」へと成長します。
<b>上井 慶子</b> <small>三重県立特別支援学校 玉城わかば学園</small>	教職大学院での2年間を、自己の成長と実践の進化のためのかけがえのない時間として大切に過ごしたいと考えています。これまでの教育実践を理論的に見つめ直し、特にICTを活用した授業づくりについて研究を深め、より効果的な子どもたちへの支援に繋がってきたいです。
<b>橋本 有弥</b> <small>三重大学教育学部附属小学校</small>	新卒の頃から、通常学級に在籍する特別支援を要する児童への指導法について、専門的に学びたいと感じていました。今年度から、附属小教員として勤務しながら三重大学で学ぶことのできる制度を整えていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。3年間頑張ります。

## 第1回 入試説明会 参加者募集中!

三重大学教職大学院で  
学びませんか？

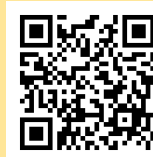
2025年5月25日（日）13:00-15:00（Zoomによるオンライン開催）

▼ 申込フォーム

・5/20（火）までに、申込フォーム（Google Forms）へのご記入をお願いします。

<https://forms.gle/LFFxSn45t9N18UQHA>

※お申込いただいた方には、5/22（木）に、Zoomの招待メールをお送りします。



編集・発行 三重大学大学院教育学研究科 教職実践高度化専攻（教職大学院）入試・広報委員会

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577    ✉ info-mkd@edu.mie-u.ac.jp

三重大学教育学部・教育学研究科ホームページ <https://www.edu.mie-u.ac.jp/>